

## 合格体験記

名古屋大学工学部化学生命工学科合格

川島 康世(46回生)

安城市立安城北中学校出身

自分の好きなことや将来の夢と、それにつながるような勉強、研究ができる大学を見つけること。それが僕の一番オススメする学力を上げる方法です。僕はこれを怠って勉強する意義を見いだせないまま、勉強すればするほど勉強が嫌いになりました。

以下、余談です。

僕は高校三年間を通して安東の授業を受け、出される課題をやって、課外授業をたくさん取りました。それだけでは大学入試対策としては不十分に思えても、面倒臭くなって課題の答えを書き写したら負け、理系科目の問題がわからなくて答えを見るのも甘えなどと極端な思想を掲げて、わからない問題は万策尽きるまで考えてから答えを見るように徹底するとすると、結構ハードです。

この方法では一つのわからない問題に二、三時間かけた結果結局解けなくて解法を見て、「誰が思いつくか」と発狂する、なんてことがよくあり、とても効率的とは言い難いとは思いますが。(なお、数時間かけて自力で解けたときは脳内麻薬がヤバイし自分はもしかしなくても天才なのでは？と悦に入ることができます)ですが、そのおかげでテストの点数が伸びるというより賢くなれたように思えます。ただし、僕はそうやって安城東が提供する勉強の機会に対してずっと受け身のままでいたために、入試本番の数学の試験で今まで積み上げてきた受験勉強が何一つ活かされなかったのではと思う程の深手を負ったので、大学ごとの対策は各自でちゃんと練りましょう。

最後に、「入試本番は何が起こるか分からない」とよく言われますが、僕の場合、一日目の最後の科目で試験官の人が「解答やめ」の号令を一分早く出してしまったとかで僕のいた教室の人だけ三十分待たされた挙げ句「追加で一分間解答を再開してよい」などと言われたり、二日目の朝に鉄道の人身事故の影響で試験の日程が一時間遅れたりしました。でもどうしようもないので、日頃から不動の心を持つようにしましょう。あと睡眠は大事です。